

市民学コース 富士見の歴史

第1回

埼玉の三偉人“渋沢栄一”と その周辺の人々

講師 山口 武 氏 埼玉歴史研究会

日時 11月7日(土) 10時~12時
場所 鶴瀬公民館第3集会室
講師 山口 武 氏
受講生数 24名

今回、「埼玉の三偉人」を取り上げたのは深谷、本庄、秩父市など県北の位置づけから改めて埼玉県全体像を認識することにしました。三偉人の中でも教科書に掲載され全国的に知られている渋沢栄一は、経済、社会福祉制度の草創期の祖として2回にわたり講義を受けます。

埼玉の三偉人とは渋沢栄一、荻野吟子、塙保己一で、2005年に上田知事の直命で選ばれたもので、県全体でもっと相応しい人がいたのではないかという意見があります。



講師 山口 武 氏

1. 栄一の出生地は現深谷市血洗島で、利根川近くの血洗島の名前の謂れについては諸説がある。

深谷市は以前、江戸時代には大変隆盛を誇っていた宿場町で、新潟県柏崎周辺から人買いに連れて来られ、飯盛り女が500人もおり、浦和宿より大きかった。足尾から貨幣製造の銅が運ばれる赤金街道や中山道、日光例幣使街道が通っており、江戸で軽微な罪で10里、20里四方を所払いされた食い詰めが流れ込んできたのが木崎で、国定忠治などが支配していた。

飯盛り女にまつわる悲劇、投げ込み寺や哀唄など紹介があった。先生の講義から金、人が交じり合う深谷の活気が伝わってきました。県北にある利根川が人を育て、渋沢栄一だけでなく多くの人材を輩出し続けた背景となった。

2. 少年～青年期

・深谷で過ごした少年時代　実家は豪農で藍による染め物で豊かだったが、のちに養蚕業を営み上州と東京間の絹織りものを扱うようになる。

12歳の頃、商売で役人と対等に掛け合い周囲を驚かせる。役人への反発。

剣道、塾で陽明学を学ぶ。従弟の尾高惇忠と親しむ。

・尊王攘夷運動　同士と語らい城の乗っ取りなど過激な行動を取ろうとしたが押しとどめられる。

3. 徳川から明治の時代へ

・徳川慶喜に仕える　推挙で会計係に、有能さを認められ渡欧施設の1員として随行。パリ万国博覧会参加。先進国の建物、産業、社会福祉制度など見分を積み帰国後推挙され、大蔵省の役人に。

4. 大蔵省を辞して実業界へ

・第1国立銀行（現みずほ銀行）の設立

・広い分野の企業の設立　500以上にかかわり日本資本主義の父といわれる。日清・日露戦争、朝鮮半島、戦争特需、鉄道敷設で大儲け。

・岩崎弥太郎と対立　経営の在り方で三菱財閥、商船問題で対立。

5. 渋沢栄一の思想

・論語と算盤　孔子が説いた論語の精神で「道德経済合一説」

・合本主義　一個人が富を独占することを嫌い、多数の小資本を集めた合本組織の設立を進めた。

・士魂商才　「信用」の威力、商業道徳を説く。



渋沢史料館



渋沢栄一

6. 埼玉県での活躍

・日本煉瓦（レンガ）製造会社　渡欧で見たレンガ造りに感服し、深谷の瓦造りを応用してレンガ造りに成功。現深谷駅に見られる。

関東大震災で東京のレンガ造りの建物が瓦解、人命が失われる被害を出す。レンガ造りが下火となる。

・富岡製糸場と絹産業　輸出産業に成長させるためにレンガ造りの製糸場を群馬に設

立、尾高惇忠の功績が大きい。

その他適宜、県北地図、渋谷栄一の語録、年表の紹介があった。

世界遺産に登録された群馬県の伊勢崎市島村の田島弥平旧宅は利根川の南側にあり、渋谷栄一の生地のお隣にある。

島村は蚕の卵を取引する「蚕種（さんしゅ）業」の村として知られ豊さを誇っていた。栄一が仲介をして三井から資金を借り入れたものです。

この経済的に豊かな地域で「ここに泉あり」の教育実践で知られた斉藤喜博が島小の校長として全国的に有名になりました。

また1958年（昭和33年）、島村教会で廃娼運動がおこりました。

その他、県北では本庄事件、秩父事件、熊谷では自由民権運動が初めて公になったなど多くの事例を教えてください。

【質疑】

1. 渋谷栄一は長男か、中の家はどういう意味か。

中の家、尾高惇忠生家、競進社など埼玉側にも世界遺産にふさわしいものがあるのに働きかけが乏しく残念。

2. 江戸末期の教育 陽明学の教えが一般的か。



講座説明資料



渋谷栄一記念館